

# 教育委員会資料

令和元年度 公益財団法人川崎市生涯学習財団「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

資料 1 「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」  
(公益財団法人川崎市生涯学習財団)

参考資料 1 「経営改善及び連携・活用に関する方針」  
(公益財団法人川崎市生涯学習財団)

令和2年8月4日

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和元(2019)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	自ら学び、活動するための支援
	分野別計画	かわさき教育プラン	

### 4力年計画の目標

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。また、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増に取り組むほか、組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト縮減を図り、安定的な経営基盤の確保を図ります。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和元 (2019)年度)	実績値 (令和元 (2019)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業	事業参加者数	人	12,094	12,700	12,722	a	A	I
		事業別の行政サービスコスト	千円	24,285	26,679	22,029	1)	(1)	
②	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業	ホームページアクセス件数	件	53,674	54,200	58,993	a	A	I
		学習情報掲載件数	件	1,832	1,932	2,432	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	10,792	11,635	12,793	2)		
③	寺子屋先生養成事業	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	人	48	50	50	a	A	I
		事業別の行政サービスコスト	千円	597	661	616	1)	(1)	

### 3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和元 (2019)年度)	実績値 (令和元 (2019)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	自主財源の増加	授業料等収入の増加	千円	24,571	26,701	27,654	a	C	II
		施設使用料収入の増加	千円	20,717	20,788	20,055	c		
②	財務改善	管理費の縮減	千円	118,125	115,088	118,261	c	C	II

### 4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和元 (2019)年度)	実績値 (令和元 (2019)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守	研修の実施回数	回	4	5	5	a	A	I
		コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a		
②	事業・業務の点検	実施回数	回	1	2	2	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【平成30年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

平成30年度の市の総括を踏まえ、市民アカデミーとの協働事業など各事業に計画的に取り組み、市民の生涯学習支援や生涯学習の環境づくりを進めながら本市の生涯学習の推進に貢献しました。また、経営健全化に向けた取組として、町内掲示板や商店などへのポスター掲示や近隣へのポスティングを行い、授業料収入、施設使用料収入の増加に努めました。さらに、一部WEBによる講座の申し込みやメールの活用等に切り替えるなど管理費の縮減に努め、安定的な財務基盤の確保や公益比率の維持に向けた取組を行いました。

【令和元年度取組評価における総括コメント】

かわさき市民アカデミー協働事業や青少年学校外活動事業、シニア活動支援事業、寺子屋先生養成事業等に計画的に取り組み、積極的な広報活動や情報発信を行うなど、本市の生涯学習の推進に寄与しており、本市が求める役割を果たしています。  
今後も、公益財団法人として全市的・広域的な視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、高度・専門的な学習ニーズに対応した場を提供し、市民の学習成果を地域づくりやまちづくり、つながりづくりなどに活かせるよう地域の人材を育成し、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進め、本市の生涯学習の推進に寄与することを期待します。  
また、「経営健全化に向けた取組」については、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、引き続き、収入の増加や管理費の縮減に努めるとともに、安定的な財務基盤の確保や公益比率の維持に向けた取組を着実に進め、より一層の自主・自立的な経営を目指していく必要があります。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和元(2019)年度)

<b>事業名</b>	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業
<b>計 画 (Plan)</b>	
<b>指標</b>	事業参加者数
<b>現状</b>	高い専門性を備えた継続的で体系的な学びの場であるかわさき市民アカデミー協働事業や川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を行うサマーキャンプなどの青少年学校外活動事業、シニア世代を対象に、これまで培ってきた経験や知識を活力ある地域社会づくりや学校支援に活かすシニア活動支援事業などを行っています。
<b>行動計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施し、参加者の増加を目指します。</li> <li>・青少年学校外活動事業については、内容の充実を図るほか事業内容の魅力の向上に努め、参加者の増加を目指します。</li> <li>・シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティアの養成講座の実施と学校等への生涯学習ボランティアの派遣、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施し、生涯学習に取り組むシニア世代の拡充を目指します。</li> <li>・その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート等を継続して実施し、本法人が実施する各事業の周知に努めます。</li> </ul>
<b>具体的な取組内容</b>	各事業について、広報や内容を工夫して実施するとともに、収支を考慮しながら市民ニーズの把握・企画の工夫等により参加者増を目指します。また、当財団主催の講座等の参加者が、学んだ成果を地域づくりや市民活動に活かすことができるよう取組を進めます。

## 実施結果 (Do)

<b>本市施策推進に向けた活動実績</b>	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき市民アカデミー協働事業は、市民の高度で専門的な学習機会の提供を支援するとともにその成果を地域還元させることを目的として、認定NPO法人かわさき市民アカデミーと連携して実施し、当財団は受講生募集チラシによる広報の協力や生涯学習プラザ等の施設提供などの支援を行いました。アカデミー講座の受講者は延べ7,217人、かわさき市民アカデミー開講式参加者116人、フェスタ参加者1,113人でした。</li> <li>・青少年学校外活動事業における「ふれあいサマーキャンプ」は、川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を通して豊かな自然や文化等にふれることを目的として6コース実施し、参加者は117人、交流自治体からは児童3人を受け入れました。また、キッズセミナーは、体験活動等を通して夏休み期間中の学習活動の充実を図ることを目的として実施し、受講者は延べ813人でした。そのほか、子ども陶芸教室は、子どもの学校外活動の機会の提供や当財団主催の陶芸教室の受講生のボランティア活動を促進することを目的に実施し、参加者23人でした。</li> <li>・シニア活動支援事業における生涯学習ボランティアの養成・派遣は、シニア世代を対象にこれまで培ってきた経験や知識を活力ある地域づくりや学校支援に活かすことを目的として実施し、養成講座修了者は25人、派遣人数は延べ1,792人、特別支援教育ボランティア交流会参加者は24人でした。市民アカデミー地域協働講座は、学習成果を地域貢献につなげる目的で実施し、受講者は延べ453人でした。また、シニア活動講演会は、シニア世代が地域でいきいきと活動し生活するための課題について考える機会の提供を目的として中原市民館と共催で実施し、参加者は117人でした。</li> <li>・その他支援事業では、身近な場所で音楽に親しむ機会の提供を目的として、ランチタイムロビーコンサートを10回実施し、来場者は延べ625人となりました。また、子育て中の市民が気軽に立ち寄り交流できる場の提供を目的として、中原区役所と共催で、「なかはらママカフェin生涯学習プラザ」を8回実施し、参加者は延べ284人でした。</li> <li>・ホームページや生涯学習情報誌以外に、施設周辺のマンションや住宅のポストへのチラシ配布や、町内掲示板や商店での提示など幅広く広報活動し、事業参加者数の増に取り組んだことにより効果に繋がりました。</li> </ul>
-----------------------	--

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業参加者数	目標値	/	12,700	12,700	12,700	12,700	人
	説明 事業参加者数で測ります。	実績値	12,094	13,308	12,722			
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため受講生の集いを中止するなどの影響があったもののフェスタ事業が1,113人と昨年度から278人増加したため参加者数はほぼ前年度並みでした。

・青少年学校外活動事業については、昨年度と同様に6コースを実施し、広報の充実に取り組み参加者数が昨年度を大きく上回りました。キッズセミナーの延べ受講者数は昨年度を下回りました。

・シニア活動支援事業については、学校等への生涯学習ボランティアの派遣と生涯学習ボランティアの養成講座の実施、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施しました。シニア活動支援事業の中で、特別支援教育ボランティア派遣事業が、派遣予算の制約により派遣回数の制限を設けたため、派遣回数が昨年度より360人減少し参加者数は昨年度を下回りました。

・その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート、「なかはらママカフェin生涯学習プラザ」を継続して実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画通りの実施が叶わず、それぞれの参加者数は昨年度を下回りました。

	区分	区分選択の理由
<b>本市による評価</b>	<b>達成状況</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> かわさき市民アカデミーとの協働事業や青少年学校外活動事業、シニア活動支援事業等の各事業について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画どおりに実施できない部分もあったが、広報の充実など工夫をしながら継続的に取り組んだ結果、成果指標である「事業参加者数」が、R1年度に12,722人と目標値を上回り、本市の生涯学習の推進に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	26,679	26,679	26,679	26,679	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値	24,285	26,061	22,029			
<b>行政サービスコストに対する達成度</b>		<b>1)</b>	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

事業収支を考慮した受講料の見直しを周辺の他施設などの状況を精査して実施したことにより、見直しによる受講者の減少はありませんでした。併せてWEBによる講座の申し込みやメールの活用等により各事業の効率的な執行に努めました。また市民から寄付があったことなどもあり、行政サービスコストについて目標値を上回って達成することができました。

	区分	区分選択の理由
<b>本市による評価</b>	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>(1)</b> 各種学級・講座の収支均衡を図り、受講料を見直し、民間企業からの寄付も有効に活用したことで、行政サービスコストの目標値の範囲内で、本市施策推進に関する指標の目標値を上回り、本市の生涯学習の推進に寄与したため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>I</b>	引き続き、各事業内容の魅力の向上に努め、対象とする参加者に応じたきめ細やかな広報を行うことで定員充足率を高め、着実に事業を推進していきます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和元(2019)年度)	
事業名	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業
計 画 (Plan)	
指標	①ホームページアクセス件数 ②学習情報掲載件数
現状	生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報、生涯学習情報誌「ステージアップ」による情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供しています。
行動計画	引き続き、生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報や生涯学習情報誌での情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供していただけるようにホームページの充実を図ります。また、情報提供先と連絡を密にし、情報収集の拡充に取り組みます。
具体的な取組内容	生涯学習関連施設・団体の事業情報等、民間教育機関を含めより多くの情報を積極的に収集して、財団ホームページを充実させ、生涯学習情報を効率的・効果的に提供します。また、生涯学習情報誌「ステージアップ」の発行により、市内で活躍している市民や団体の活動、当財団主催の講座紹介等を行います。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 市民が生涯学習のきっかけや場を探したり、自身の持つ知識や技術を地域に活かすなどの様々なニーズに応じられるよう、引き続き、財団ホームページに「講座・イベント情報」「生涯学習関連施設情報」「団体・グループ情報」「指導者・人材情報」などの生涯学習情報を掲載しました。市民館、図書館、博物館等の生涯学習関連施設、市内を中心とする関係団体、大学、民間教育機関から積極的な学習情報の収集を行うことで情報を積極的に更新し、各種学習情報の内容充実に向け、ホームページアクセス件数は58,993件となりました。</p> <p>【指標2関連】 市民の学習機会の拡大につながるよう幅広い学習情報の提供を行うため、市民館、図書館、博物館等の生涯学習関連施設、市内を中心とする関係団体、大学、民間教育機関などから学習情報を積極的に収集し、財団ホームページ「講座・イベント情報」に学習情報を2,432件掲載しました。また、収集した学習情報を幅広く提供するため、神奈川県生涯学習情報システムへの情報提供を行いました。</p> <p>【その他】 生涯学習情報誌「ステージアップ」では講座やイベントの情報発信だけでなく、市内で活躍している市民や団体の活動を記事として取り上げ、紹介するなど、生涯学習活動に関する周知・啓発にも留意して制作・発行することができました。ステージアップは、年6回、各9,500部発行しました。また、メールマガジンを活用し、タイムリーな情報を毎月発信しました。</p>

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	ホームページアクセス件数	目標値	/	54,000	54,200	54,400	54,600	件
	説明	情報の発信・提供の効果を具体的なホームページアクセス件数で測ります。 ※個別設定値: 53,078(過去の平均値)		実績値	53,674	59,313	58,993	
2	学習情報掲載件数	目標値	/	1,882	1,932	1,982	2,032	件
	説明	学習情報の掲載件数で測ります。		実績値	1,832	1,892	2,432	

指標1 に対する達成度	<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	<b>a</b>	

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・ホームページアクセス件数については、財団ホームページの情報を積極的に更新し、各種生涯学習情報の内容充実にも努め、目標値を上回って達成することができました。  
 ・学習情報掲載件数については、市民館、図書館、博物館等の生涯学習関連施設、市内を中心とする関係団体、大学、民間教育機関などから学習情報を積極的に収集し、目標値を大きく上回って達成することができました。

<b>本市による評価</b>	<b>達成状況</b>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	生涯学習情報を幅広く積極的に収集し、財団ホームページを充実した結果、成果指標である「ホームページアクセス件数」が、R1年度に58,993件、「学習情報掲載件数」が2,432件となり、ともに目標値を上回り、本市の生涯学習の振興に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	11,635	11,635	11,635	11,635	千円
	説明	直接事業費ー直接自己収入		実績値	10,792	11,455	12,793	

行政サービスコストに対する達成度	<b>2)</b>	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	-----------	--

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

生涯学習情報の提供の充実に向けて臨時職員を雇用することによって事業費が増加したため、ステージアップの部数を10,000部から9,500部に削減し、配布先や配布部数を精査し、通信費(郵便料)の削減に努めたものの、行政サービスコストについては目標値を上回りました。

<b>本市による評価</b>	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2) 行政サービスコストの目標値を達成しなかったが、本市施策推進に関する指標の目標値を上回るとともに、学習情報の発信・提供数において、大きく増加する効果をあげることができ、生涯学習の振興に寄与したため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	引き続き、生涯学習関連施設・団体、民間教育機関等を含めより多くの情報元から積極的に情報収集を行うとともに、ホームページの活用・内容充実に取り組み、生涯学習情報を効率的・効果的に情報を発信・提供します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

### 本市施策推進に向けた事業取組③(令和元(2019)年度)

事業名	寺子屋先生養成事業
-----	-----------

### 計 画 (Plan)

指標	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数
現状	市からの委託を受け、市内の各校で実施されている「地域の寺子屋事業」で学習支援の活動をする寺子屋先生を養成する講座を各区で開催しています。
行動計画	「地域の寺子屋事業」の拡充に合わせて、市と連携を取りながら、寺子屋先生養成講座を実施し、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。
具体的な取組内容	「地域の寺子屋事業」において、主に放課後の学習支援の中で子ども達の学習をサポートする寺子屋先生の養成講座を7期開催し、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。

### 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 寺子屋先生養成講座は、主に放課後の学習支援の中で子ども達の学習をサポートする寺子屋先生の養成を目的として市内7区で8期開催し、受講者は延べ132人でした。受講修了者の内、50人が新たに寺子屋先生としての活動に参加し「地域の寺子屋事業」の推進に寄与しました。</p> <p>【その他】 事業を受託した団体が事業を円滑かつ効果的に実施できるよう、「寺子屋すみよし」「寺子屋ぎよくせん」の事業運営支援を行い、中間支援組織としての役割を果たしながら「地域の寺子屋事業」の推進に寄与しました。</p>
----------------	--



## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	目標値	/	50	50	50	50	人
	説明 寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数で測ります。	実績値	48	53	50			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
----------------	---	---

**法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)**

今年度から中学生を対象とする寺子屋先生の養成講座を実施し、「地域の寺子屋事業」の運営を担う新たな人材の確保につなげることができ、目標値が達成されました。

<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;">                 本市による評価             </div>	<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;">                 達成状況             </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="width: 50%;">区分</th> <th style="width: 50%;">区分選択の理由</th> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">                     A. 目標を達成した                      B. ほぼ目標を達成した                      C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった                      D. 現状を下回るものが多くあった                      E. 現状を大幅に下回った                 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</td> </tr> </table>	区分	区分選択の理由	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A
	区分	区分選択の理由				
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A					
寺子屋先生養成講座の充実により、成果指標である「寺子屋先生養成講座を受講し、『地域の寺子屋事業』の運営へ新たに参加した数」が、R1年度に50人となり、目標値を達成し、「地域の寺子屋事業」の推進に寄与したため。						

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	661	661	661	661	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値	597	697	616			

行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	--

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

消耗品等の事業経費を削減したことにより、目標値を上回って達成することができました。また、市からの委託経費についても適切な執行に努めました。

<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;">                 本市による評価             </div>	<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;">                 費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)             </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="width: 50%;">区分</th> <th style="width: 50%;">区分選択の理由</th> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">                     (1). 十分である                      (2). 概ね十分である                      (3). やや不十分である                      (4). 不十分である                 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 24px; font-weight: bold;">(1)</td> </tr> </table>	区分	区分選択の理由	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1)
	区分	区分選択の理由				
(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1)					
行政サービスコストの目標値の範囲内で、本市施策推進に関する指標の目標値を達成するとともに、これまで実施していた小学生を対象とする寺子屋先生の養成講座に加え、中学生を対象とする寺子屋先生の養成講座を実施したことによる「地域の寺子屋事業」の新たな人材の増といった効果もあり、「地域の寺子屋事業」の推進に寄与したため。						

## 改善 (Action)


実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I	市と連携しながら、寺子屋事業の運営を担う人材の確保に向けた「寺子屋先生養成講座」の受講生の増加に取組み、「地域の寺子屋事業」の運営を担う人材の確保につなげられるように努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

3. 経営健全化に向けた取組①(令和元(2019)年度)	
項目名	自主財源の増加
計 画 (Plan)	
指標	①授業料等収入の増加 ②施設使用料収入の増加
現状	生涯学習プラザの会議室等の貸出を行っているほか、収益事業として、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりや受講生同士の交流を目指すスポーツ教室、手軽に趣味や生活技術を学ぶことや受講生同士の交流を目指す文化教室、陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を目指す陶芸教室などを実施しています。
行動計画	公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。
具体的な取組内容	講座募集定員の充足率を高める取組を継続するほか、収益事業において「ストレッチ&バレエ講座」、「おとなバレエ講座」や「季節のフラワーデザイン講座」を新たに開講するとともに、諸経費の高騰等に対応するため、受講料の見直しを行います。また、当財団主催の講座修了者を対象に生涯学習プラザの利用を促す取組など、生涯学習プラザの利用促進に努めます。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室は、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加し、健康な身体づくりと受講生同士の交流を図ることを目的として実施し、参加者は延べ13,608人で、前年度より291人増加しました。実施にあたっては、市民のニーズを反映し、「ストレッチ&amp;バレエ」と「おとなバレエ」の新規講座を各1講座ずつ開講して受講生の増加に取り組みました。</li> <li>・文化教室は、市民が手軽に趣味や生活技術等を学ぶことや受講生同士の交流を目的として実施しており、新規で「季節のフラワーデザイン」1講座を開講したなどで、参加人数は延べ1,377人でした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため冬期講座で3月に実施予定だった教室が5教室中止となったため、参加人数は前年度より238人減少しました。</li> <li>・陶芸教室は、市民が陶芸を通して豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を図ることを目的として実施し、参加者は延べ4,013人でした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月の教室を一部中止としたため、参加者は前年度より123人減少しました。</li> <li>・各収益事業の募集定員の充足率が高まるようきめ細やかな広報に努め、定員の充足率は、95.6%となりました。</li> </ul> <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団事業案内リーフレットを改訂するとともに、施設利用案内チラシを作成・配布して広報強化に努め民間教育事業者等の新規利用の促進に取り組みました。また、「地域協働講座等修了者自主グループ活動支援」を実施し、講座修了生交流会がプラザを利用して6回開催されました。年間のプラザ利用件数は7,158件で、前年度より8件減少しました。但し、3月までの予約状況では前年度収入を大きく上回る事が予測されましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とするキャンセルが213件にも上ったため利用件数及び収入が伸び悩みました。</li> <li>・指定管理施設である大山街道ふるさと館の貸館業務では、利用件数が2,038件となり、前年度より17件増加しました。</li> </ul>

評価 (Check)								
経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	授業料等収入の増加	目標値	/	26,201	26,701	27,201	27,701	千円
	説明 授業料等収入の増加により測ります。	実績値		24,571	25,924	27,654		
2	施設使用料収入の増加	目標値	/	20,288	20,788	21,288	21,788	千円
	説明 施設使用料収入の増加により測ります。	実績値		20,717	20,140	20,055		
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		c	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<p>・授業料等収入の増加については、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組の影響があったものの、事業費収支を考慮した受講料の見直しを行ったことや募集定員充足率の向上により、目標値を上回って達成できました。</p> <p>・施設使用料収入の増加については、目標値を達成することができず、前年度実績を下回りました。新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とするキャンセルによる約120万円の減収が大きく影響しました。</p>								

	<b>達成状況</b>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>C</b> 成果指標である「授業料等収入の増加」は、新規講座の開設等に取り組んだ結果、27,654千円となり、目標値の26,701千円を上回った。また、成果指標である「施設使用料の収入の増加」は、20,055千円となり、目標値の20,788千円を達成することができなかったものの、施設利用案内のチラシ配布の広報等に努め、2月までは好調であった。その後、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とするキャンセルの件数が多く、目標値を上回る収入の増加とはならなかったが、「地域協働講座等修了者自主グループ活動支援」の実施及び講座修了生交流会を施設を使用して開催された等、一定の成果があったため。

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

経営健全化に向けた取組②(令和元(2019)年度)	
項目名	財務改善
計 画 (Plan)	
指標	管理費の縮減
現状	委託費の見直しや消耗品費の見直し等で削減を図っています。
行動計画	組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高めることでコスト縮減を図ります。
具体的な取組内容	組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高めることでコスト縮減を図ります。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 経営状況を踏まえ、管理費の縮減に向けた取り組みとして、令和元年度には、事務局長と総務室長を兼務としました。また、引き続き、組織体制及び事務分担の見直しの取組として、次年度に向けて、総務室の総務係と企画情報係の兼務を検討しました。併せて、事務経費などの支出の抑制に取り組みました。</p>

## 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	管理費の縮減	目標値	/	116,437	115,088	113,711	112,711	千円
	説明 管理費の縮減により測ります。	実績値		118,125	113,418	118,261		
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>C</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

委託経費については、最低賃金の変更による受付・清掃員の人件費や消費税率改定に伴う租税公課により増加しました。また、法令改正に伴う設備保守点検費や施設老朽化に伴う修繕費の増加などにより目標値を達成することはできませんでしたが、事務局長と総務室長を兼務にしたことで人件費削減に努めました。

	<b>達成状況</b>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>C</b>  成果指標である「管理費の縮減」はR1年度に118,261千円となり、目標値の115,088千円を達成することができなかったものの、組織体制及び事務分担の見直しを実施し、事務局長と総務室長を兼務にしたことで人件費削減に努め、一定の成果があったため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>II</b>	引き続き、組織体制及び事務分担の見直しや事務経費などの恒常的な経費について可能な限り経費の削減に努めます。また、公益目的事業比率に係る事業費と管理費の配賦について行政官庁と相談・調整して見直しを行い、実態に応じた適正な配賦基準を検討します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

4. 業務・組織に関する取組①(令和元(2019)年度)	
項目名	人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守
計 画 (Plan)	
指標	①研修の実施回数 ②コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	職員等の意欲や能力向上を目的に4回の研修を実施し、人材の育成を図っています。また、コンプライアンスに反する事案は発生していません。
行動計画	研修の機会を確保し、人材育成研修の充実を図ります。また、コンプライアンスに反する事案の発生件数は0件を維持します。
具体的な取組内容	・業務理解、事業推進、情報スキル等の職員研修を実施する機会を確保し、企画力、業務執行力、専門性の向上を図ります。 ・コンプライアンス意識の高い職場の醸成に努めます。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団ホームページや財団主催の講座等の魅力的なチラシ作成に役立つチラシ作成研修「デザイン編」「実践編」を実施し、それぞれ19人が参加しました。</li> <li>・ふれあいサマーキャンプの引率を行う財団職員に対し、引率時の注意点のほか参加者や交流自治体への対応方法について研修を行うふれあいサマーキャンプ引率者研修を実施し、対象者6人が全員参加しました。</li> <li>・職員のICT能力向上のため、Word研修応用編に14人が参加し、Excel研修応用編に10人が参加しました。</li> </ul> <p>【指標2関連】</p> <p>職場内の打ち合わせや職員研修等の機会を活用して、情報共有やコミュニケーションを促進することで風通しの良い職場づくりを推進するなど、コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成に努めました。</p>

## 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	研修の実施回数	目標値	/	5	5	5	5	回
	説明 研修の実施回数により測ります。	実績値		4	5	5		
2	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	/	0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンスを遵守します。	実績値		0	0	0		

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・研修の実施回数については、目標値を達成しました。引き続き、研修を計画的に実施するとともに職員の能力向上のため、内容の充実を努めます。  
 ・コンプライアンスに反する事案の発生は無く、目標値を達成しました。今後も、コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成に努めます。

<div style="font-size: 24px; color: green;">➔</div> 本市 による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	本法人の職員の人材育成に努め、成果指標である「研修の実施回数」が5回となり目標値を達成し、本法人の職員の能力向上や事業の充実、魅力づくりにつながったほか、法令違反行為等のコンプライアンスに反する事案はなかったため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

業務・組織に関する取組②(令和元(2019)年度)	
項目名	事業・業務の点検
計 画 (Plan)	
指標	実施回数
現状	年に2回、各事業・業務の成果と課題まとめを行っています。
行動計画	上半期・下半期に各事業・業務の点検評価を行うことで、課題解消や改善点を迅速に各事業・業務に反映するとともに、次年度の事業計画にも反映します。
具体的な取組内容	上・下半期経過後に、各事業・業務の点検評価を行い、経営委員会を経て次期事業計画等に反映させます。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期・下半期に各事業の実施状況や運営体制の点検評価を行いました。点検結果を基に、生涯学習情報誌「Stage Up(ステージアップ)」については、配布先、発行回数及び部数、内容の再編成、併せてステージアップの紙面に電子版をPRしていくなどの検討を進めました。また、組織体制及び事務分担を見直し、総務室の総務係と企画情報係の再編について検討を進めました。さらに、公益事業比率に係る事業費と管理費の配賦について見直しを行い、実態に応じた適正な配賦基準の検討を進めました。</li> <li>・特別支援教育ボランティア養成・派遣事業については、教育委員会事務局と連携して事業のあり方の見直しを行い、次年度の事業計画に反映しました。</li> <li>・生涯学習プラザ施設提供事業については、プラザ施設使用料について、消費税率の引上げ及び施設の維持管理・運営に係る経費の上昇等に対応するための使用料改定の検討を進め、次年度の事業計画に反映しました。</li> </ul>



## 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	実施回数	目標値	/	2	2	2	2	回
	説明 実施回数により測ります。	実績値	1	2	2			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
----------------	---	---

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

実施回数については、目標値を達成しました。今後も、効果的、効率的な事業・業務の推進について当財団職員の認識を高めるとともに、職員が誇りとやりがいをもって各事業・業務に取り組めるように努めます。

<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold;">             本市 による評価           </div>	<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold;">             達成状況           </div>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b>

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止
		引き続き、上半期・下半期に各事業・業務の点検評価を行い、課題解消や改善に関して迅速に対応を進めるとともに、次年度の事業計画に反映できるように努めます。

## ●法人情報

### (1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
<b>正味財産増減計算書</b>	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	291,463	301,231		
	経常費用	300,502	311,480		
	当期経常増減額	△9,039	△10,249		
	当期一般正味財産増減額	△11,202	△10,249		
<b>貸借対照表</b>	(指定正味財産増減の部)				
	当期指定正味財産増減額		3,000		
	正味財産期末残高	313,391	306,141		
<b>貸借対照表</b>	総資産	331,753	321,940		
	流動資産	48,097	41,355		
	固定資産	283,656	280,585		
	総負債	18,362	15,799		
	流動負債	18,362	15,799		
	固定負債				
	正味財産	313,391	306,141		
	一般正味財産	113,391	103,141		
	指定正味財産	200,000	203,000		
<b>エラーチェック</b>		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
	補助金	138,934	139,504		
	委託料	5,393	5,238		
	指定管理料	93,271	101,707		
	貸付金(年度末残高)				
	損失補償・債務保証付債務(年度末残高)				
	出捐金(年度末状況)	200,000	200,000		
	(市出捐率)	100.0%	100.0%		
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
	流動比率(流動資産/流動負債)	261.9%	261.8%		
	正味財産比率(正味財産/総資産)	94.5%	95.1%		
	正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)	-3.6%	-2.4%		
	総資産回転率(経常収益/総資産)	87.9%	93.6%		
	収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益	81.5%	81.8%		

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>公益財団法人として、収支相償をはじめとする財務に関する基準を満たすとともに、法人の設置目的を果たすため、各種事業を継続的に実施しました。財務状況については、当期経常増減額、一般正味財産増減額ともにマイナスとなりましたが、経営改善及び連携・活用に関する方針における資金計画の目標値より赤字は縮減しています。事業の再編や収益事業による自主財源確保及び経費縮減に取り組んでいます。現状では公益目的事業の収支差額を補填できるまでには至っていません。</p>	<p>引き続き事業費、管理費の支出を抑制する経費節減と各事業の損益改善に向けた取組を進めるとともに、所管課と十分に協議・連携を図りながら資金計画の目標達成に向けた着実な取組を進め、経営の安定化に努めます。</p>	<p>受講料の見直しや各収益事業の募集定員充足率の向上に努めるなど経常収益が増加しており、本市の生涯学習振興に寄与し、本市が求める役割を果たしています。今後も公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、市民のニーズを踏まえながら事業の工夫や受講者・利用者の確保に努めるほか、収益事業による自主財源の確保や事務経費などの経費節減、各事業の収益改善に取り組み、安定的な経営基盤を確保した運営を期待します。</p>

### (2)役員・職員の状況(令和2年7月1日現在)

	常勤(人)		非常勤(人)	
	合計	(うち市派遣)	合計	(うち市在職)
<b>役員</b>	2		7	
<b>職員</b>	6		23	

#### 【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性

# 経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 経営改善及び連携・活用に関する方針

### 法人の施策概要

#### (1) 法人の事業概要

- ・生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業(かわさき市民アカデミー協働事業、青少年学校外活動事業、生涯学習プラザ施設提供事業、シニア活動支援事業、生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業など)
- ・生涯学習関連施設管理運営事業(大山街道ふるさと館、子ども夢パークの指定管理)
- ・生涯学習活動及び情報に関する運営管理受託事業(寺子屋先生養成講座の受託など)
- ・収益事業(生涯学習に関する多彩な体験講座事業など)

#### (2) 法人の設立目的

川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化等に関する各種の事業を行うとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的としています。

#### (3) 法人のミッション

- ・全市的・広域的な視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を推進します。
- ・シニア活動支援事業やかわさき市民アカデミーへの支援など、市民の高度で専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供します。
- ・中間支援組織の特性を活かして学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等との多様な連携により事業を展開します。

### 本市施策における法人の役割

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。

		基本政策	施策
法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	自ら学び、活動するための支援
	分野別計画	かわさき教育プラン	

### 現状と課題

社会を取り巻く環境が急激に変化する中で、地域課題や市民生活の多様化によりさまざまなニーズが生じており、行政のみでそれらに応えるには限界があります。生涯にわたって学習し、自己の能力を高め、地域のために活動する人材を育成するとともに、地域課題を学び、解決していくための市民活動を促進することが求められており、公益財団法人の設置目的や役割に基づき、全市的な視点で各事業を継続的・効果的に実施する中で、社会情勢に応じて事業内容を見直すことにより、経営基盤強化などに取り組めます。

### 取組の方向性

#### (1) 経営改善項目

- ・公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。
- ・組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト削減を図ります。

#### (2) 本市における法人との連携・活用

- ・本法人への適切な指導を行うことで、行政機関や民間とは異なる中間支援組織の特性を活かした学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等との多様な連携を進め、市民の生涯学習機会の充実を図ります。
- ・シニア世代をはじめとする地域人材の知識と経験を活かして、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくる市の「地域の寺子屋事業」との連携を図ります。

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

### 4カ年計画の目標

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。また、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増に取り組むほか、組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト削減を図り、安定的な経営基盤の確保を図ります。

### 本市施策推進に向けた事業計画

取組№	事業名	指標	現状値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	
①	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業	事業参加者数	12,094	12,700	12,700	12,700	12,700	人
		事業別の行政サービスコスト	24,285	26,679	26,679	26,679	26,679	千円
②	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業	ホームページアクセス件数	53,674	54,000	54,200	54,400	54,600	件
		学習情報掲載件数	1,832	1,882	1,932	1,982	2,032	件
		事業別の行政サービスコスト	10,792	11,635	11,635	11,635	11,635	千円
③	寺子屋先生養成事業	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	48	50	50	50	50	人
		事業別の行政サービスコスト	597	661	661	661	661	千円

### 経営健全化に向けた事業計画

取組№	項目名	指標	現状値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	
①	自主財源の増加	授業料等収入の増加	24,571	26,201	26,701	27,201	27,701	千円
		施設使用料収入の増加	20,717	20,288	20,788	21,288	21,788	千円
②	財務改善	管理費の縮減	118,125	116,437	115,088	113,711	112,711	千円

### 業務・組織に関わる計画

取組№	項目名	指標	現状値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	
①	人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守	研修の実施回数	4	5	5	5	5	回
		コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
②	事業・業務の点検	実施回数	1	2	2	2	2	回

## 2. 本市施策推進に向けた事業計画①

<b>事業名</b>		生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業					
<b>指標</b>		事業参加者数					
<b>現状</b>		高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であるかわさき市民アカデミー協働事業や川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を行うサマーキャンプなどの青少年学校外活動事業、シニア世代を対象に、これまで培ってきた経験や知識を活力ある地域社会づくりや学校支援に活かすシニア活動支援事業などを行っています。					
<b>行動計画</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施し、参加者の増加を目指します。</li> <li>・青少年学校外活動事業については、内容の充実を図るほか事業内容の魅力の向上に努め、参加者の増加を目指します。</li> <li>・シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティアの養成講座の実施と学校等への生涯学習ボランティアの派遣、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施し、生涯学習に取り組むシニア世代の拡充を目指します。</li> <li>・その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート等を継続して実施し、本法人が実施する各事業の周知に努めます。</li> </ul>					
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
<b>指標</b>	1	事業参加者数	12,094	12,700	12,700	12,700	人
		説明 事業参加者数で測ります。					
	2	事業別の行政サービスコスト	24,285	26,679	26,679	26,679	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入					

## 本市施策推進に向けた事業計画②

<b>事業名</b>	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業
<b>指標</b>	①ホームページアクセス件数 ②学習情報掲載件数
<b>現状</b>	生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報、生涯学習情報誌「ステージアップ」による情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供しています。
<b>行動計画</b>	引き続き、生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報や生涯学習情報誌での情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供していけるようにホームページの充実を図ります。また、情報提供先と連絡を密にし、情報収集の拡充に取り組みます。

スケジュール		現状値	目標値					
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
指標	1	ホームページアクセス件数	53,674	54,000	54,200	54,400	54,600	件
	説明	情報の発信・提供の効果を具体的なホームページアクセス件数で測ります。						
	2	学習情報掲載件数	1,832	1,882	1,932	1,982	2,032	件
説明	学習情報の掲載件数で測ります。							
3	事業別の行政サービスコスト	10,792	11,635	11,635	11,635	11,635	千円	
説明	直接事業費－直接自己収入							

### 本市施策推進に向けた事業計画③

<b>事業名</b>		寺子屋先生養成事業						
<b>指標</b>		寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数						
<b>現状</b>		市からの委託を受け、市内の各校で実施されている「地域の寺子屋事業」で学習支援の活動をする寺子屋先生を養成する講座を各区で開催しています。						
<b>行動計画</b>		「地域の寺子屋事業」の拡充に合わせて、市と連携を取りながら、寺子屋先生養成講座を実施し、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	48	50	50	50	50	人
	説明	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数で測ります。						
	2	事業別の行政サービスコスト	597	661	661	661	661	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

### 3. 経営健全化に向けた計画①

<b>項目名</b>		自主財源の増加						
<b>指標</b>		①授業料等収入の増加 ②施設使用料収入の増加						
<b>現状</b>		生涯学習プラザの会議室等の貸出を行っているほか、収益事業として、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりや受講生同士の交流を目指すスポーツ教室、手軽に趣味や生活技術を学ぶことや受講生同士の交流を目指す文化教室、陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を目指す陶芸教室などを実施しています。						
<b>行動計画</b>		公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	授業料等収入の増加	24,571	26,201	26,701	27,201	27,701	千円
	説明	授業料等収入の増加により測ります。						
	2	施設使用料収入の増加	20,717	20,288	20,788	21,288	21,788	千円
	説明	施設使用料収入の増加により測ります。						

## 経営健全化に向けた計画②

<b>項目名</b>		財務改善						
<b>指標</b>		管理費の縮減						
<b>現状</b>		委託費の見直しや消耗品費の見直し等で削減を図っています。						
<b>行動計画</b>		組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高めることでコスト削減を図ります。						
<b>スケジュール</b>		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
<b>指標</b>	1	管理費の縮減	118,125	116,437	115,088	113,711	112,711	千円
	説明	管理費の縮減により測ります。						

## 4. 業務・組織に関する計画①

<b>項目名</b>		人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守						
<b>指標</b>		①研修の実施回数 ②コンプライアンスに反する事案の発生件数						
<b>現状</b>		職員等の意欲や能力向上を目的に4回の研修を実施し、人材の育成を図っています。また、コンプライアンスに反する事案は発生していません。						
<b>行動計画</b>		研修の機会を確保し、人材育成研修の充実を図ります。また、コンプライアンスに反する事案の発生件数は0件を維持します。						
<b>スケジュール</b>		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
<b>指標</b>	1	研修の実施回数	4	5	5	5	5	回
		説明						
	2	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
		説明						



## 業務・組織に関する計画②

<b>項目名</b>		事業・業務の点検						
<b>指標</b>		実施回数						
<b>現状</b>		年に1回、各事業・業務の成果と課題まとめを行っています。						
<b>行動計画</b>		上半期・下半期に各事業・業務の点検評価を行うことで、課題解消や改善点を迅速に各事業・業務に反映するとともに、次年度の事業計画にも反映します。						
<b>スケジュール</b>		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
<b>指標</b>	1	実施回数	1	2	2	2	2	回
		説明 実施回数により測ります。						

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方	
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度		
①生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業					
1	事業参加者数 算出方法 かわさき市民アカデミー協働事業や、青少年学校外活動事業、シニア活動支援事業、その他支援事業の参加者の合計	自己実現を目指す市民の多様な学習活動や交流の状況を、本法人が提供する年間の講座等の参加者数で測ります。	12,094人	12,700人	かわさき教育プランに基づく目標に合わせて目標値を設定しています。過去4年間の最大値12,631人を上回る12,700人を目標値として設定しています。(参考: H26-H29 平均12,051人)
2	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費—直接自己収入	本事業における行政サービスコストを把握する上で必要な指標であり、事業の費用対効果を検証することができます。	24,285千円	26,679千円	本事業の行政サービスコストが増加しないよう、平成30年度の予算額を維持します。平成29年度は決算額が予算額を下回りました(※)が、平成30年度は予算額としています。 ※一部事業の中止などにより減額となりました。(H26-H29平均25,415千円)
②生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業					
1	ホームページアクセス件数 算出方法 本法人のホームページ「かわさきの生涯学習情報」のアクセス件数	具体的なホームページアクセス件数を確認することにより、幅広い全市民的な学習関連情報の活用状況を測ります。	53,674件	54,600件	本法人の情報だけでなく、NPO、民間業者等の情報掲載を積極的にしていくことで、アクセス件数を増加させていきます。過去4年間の最大値54,204件より約400件の増加を目標値として設定しています。(参考: H26-H29 平均53,078件)
2	学習情報掲載件数 算出方法 本法人のホームページに掲載された学習情報の件数	市民の学習機会の拡大につながる学習情報提供の状況を具体的な掲載件数で測ります。	1,832件	2,032件	学習情報掲載件数については、平成28年度、平成29年度は市の「ふれあいネット」から学習情報の移管など特殊事情があったため、平成26年度から平成27年度にかけての年間増加数約50件を目標値として設定しています。(参考: H26-H29 平均1,027件)
3	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費—直接自己収入	本事業における行政サービスコストを把握する上で必要な指標であり、事業の費用対効果を検証することができます。	10,792千円	11,635千円	事業の行政サービスコストが増加しないよう、平成30年度の予算額を維持します。平成29年度は決算額が予算額を下回りました(※)が、平成30年度は予算額としています。 ※関係職員の年度途中退職により、人件費が減額となりました。(参考: H26-H29 平均14,864千円)

③寺子屋先生養成事業

1	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに 参加した人数	学びの成果が地域に還元されている状 況を、寺子屋先生養成講座を受講し、地 域の寺子屋事業の運営へ新たに参加し た人数で測ります。	48人	50人	寺子屋先生養成講座を受講し、地域の 寺子屋事業の運営へ新たに参加した人 数について、平成29年度の実績値を維 持します。(参考:H26-H29平均42人)
	算出 方法				
2	事業別の行政サービスコスト	本事業における行政サービスコストを把 握する上で必要な指標であり、事業の費 用対効果を検証することができます。	597千円	661千円	事業の行政サービスコストが増加しない よう、平成30年度の予算額を維持しま す。平成29年度は決算額で、平成30年度 以降は予算額としています。 (参考:H27-H29 平均361千円)
	算出 方法				

経営健全化に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値		目標値		目標値の考え方
		平成29(2017) 年度	平成33(2021) 年度	平成29(2017) 年度	平成33(2021) 年度	
①自主財源の増加						
1	授業料等収入の増加	本法人の自己収入である授業料収入を 把握することで、経常収支の改善に向け た取組の効果を測ります。	24,571千円	27,701千円	本法人の経常収支の改善に向け、年間 500千円の増加を目指します。 (参考:H26-H29 平均22,703千円)	
	算出 方法					授業料等収入額
2	施設使用料収入の増加	本法人の自己収入である生涯学習ブラ ザの会議室等の施設使用料収入を把握 することで、経常収支の改善に向けた取 組の効果を測ります。	20,717千円	21,788千円	本法人の経常収支の改善に向け、年間 500千円の増加を目指します。 (参考:H26-H29 平均26,617千円)	
	算出 方法					施設使用料収入額
②財務改善						
1	管理費の縮減	本法人の管理費の縮減を把握すること で、経常収支の改善に向けた取組の効 果を測ります。	118,125千 円	112,711千 円	本法人の経常収支の改善に向け、年間 約1,000千円の縮減を目指します。 (参考:H26-H29 平均120,019千円)	
	算出 方法					管理費の額

業務・組織に関わる計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方	
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度		
①人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守					
1	研修の実施回数	職員等の意欲や能力向上の取組の状況を人材育成研修の実施回数で測ります。	4回	5回	人材育成の一層強化に向けて年間5回の実施を目標値に設定しました。 (参考:H27-H29 平均2.6回)
	算出方法 研修の実施回数				
2	コンプライアンスに反する事案の発生件数	違反事例の発生件数で、コンプライアンスの徹底状況を把握します。	0件	0件	本法人において、コンプライアンスに反する事案発生件数0件を目標値に設定しました。 (参考:H26-H29 実績0回)
	算出方法 コンプライアンスに反する事案の発生件数				
②事業・業務の点検					
1	実施回数	効果的・効率的な事業・業務の推進に向けた取組の状況を点検実施回数で測ります。	1回	2回	半期ごとの点検実施により、改善策等を迅速に反映できるよう年2回の実施を目標値に設定しました。 (参考:H26-H29 平均1回)
	算出方法 点検の実施回数				

# 資金計画表

[ 平成30年度～平成33年度 ]

法人名： 公益財団法人川崎市生涯学習財団

(単位：千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	45,289	46,489	47,489	48,489	49,489
		補助金収入	138,090	138,934	138,934	138,934	138,934
		指定管理料収入	93,271	93,271	93,271	93,271	93,271
		委託費収入	5,488	4,923	4,923	4,923	4,923
		寄付金収入	22	33	33	33	33
		雑収入	4,689	4,245	4,245	4,245	4,245
		その他収入	9,553	2,237	2,237	2,237	2,237
		<b>経常収入合計</b>	<b>296,402</b>	<b>290,132</b>	<b>291,132</b>	<b>292,132</b>	<b>293,132</b>
	支出	事業費	179,183	189,223	188,895	188,855	188,733
		管理費	118,125	116,437	115,088	113,711	112,711
		減価償却費(△)	△ 1,367	△ 1,306	△ 629	△ 212	△ 90
		期首商品棚卸高(△)	△ 92	△ 200	△ 200	△ 200	△ 200
		<b>経常支出合計</b>	<b>295,849</b>	<b>304,154</b>	<b>303,154</b>	<b>302,154</b>	<b>301,154</b>
<b>経常収支</b>			<b>553</b>	<b>△ 14,022</b>	<b>△ 12,022</b>	<b>△ 10,022</b>	<b>△ 8,022</b>
投資収支							
<b>投資等収支</b>			<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
財務収支							
<b>財務収支</b>			<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>現金預金増加高</b>			<b>553</b>	<b>△ 14,022</b>	<b>△ 12,022</b>	<b>△ 10,022</b>	<b>△ 8,022</b>
<b>期首現金預金</b>			<b>119,716</b>	<b>120,269</b>	<b>106,247</b>	<b>94,225</b>	<b>84,203</b>
<b>期末現金預金</b>			<b>120,269</b>	<b>106,247</b>	<b>94,225</b>	<b>84,203</b>	<b>76,181</b>